

2021年度__事業所における自己評価結果「児童発達支援」

公表：令和 4 年 2 月 21 日

事業所名：からふるtoys

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		療育部屋の使い方をスタッフ同士で話し合いながら使用している。	限られたスペースではございますが、より工夫を重ね対応していきたいと思っております。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	2	療育スペースまでの導線に、取り組む工程を視覚化し、目で見て分かるように構造化をしている。	スタジオが2階の為、急な階段がありご迷惑をおかけしている部分がございます。大変申し訳ございません。ベビーカー等運ぶお手伝いもさせていただきますので、お声がけください。子供用トイレの準備がございませんでしたので、検討させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		こまめに掃除を行っている。 スタジオ内に療育道具が多いため、興味が移らないよう必要な道具のみ取り出す等の工夫をしている。	お子様にとって、より良い療育環境となるよう日々検討し、実施していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			随時打ち合わせや引き継ぎ等を行っております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			今年度開所の為、次年度より取り組んでまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			今年度開所の為、次年度より取り組んでまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	6	研修の場で、様々な方からの意見をいただき、業務改善につなげている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		定期的に行っている。	スタジオでの療育内容の研修や、外部研修参加等資質向上に取り組んでおります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		日々の療育内容をスタッフ同士で共有し、現状把握に努めている。	お子様の現状と保護者様からの聞き取りを基に、個別の児童発達支援計画を作成しております。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		定められているアセスメントツールを使用し、適切なアセスメントを行っている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		お子様の現状を正しく把握し、お子様に必要なスキルを身に付けてもらえるよう、具体的な目標を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		情報共有を徹底し、目標達成に向け支援計画に沿ったアプローチを心がけている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	お子様の様子を共有しながら、プログラムをたてている。	複数人でのプログラム考案に取り組み、様々な角度からアプローチをかけることができるよう今後も継続して取り組んでいきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		毎回一つ以上、新しい課題を取り入れるようにしている。サービスマニュアルを確認し、固定化されないよう努めている。	日々プログラムをスタッフで共有し、療育の幅を広げられるよう取り組んでおります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7			お子様の課題や現状に合わせて、支援計画の作成を行っております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		集団やプロンプトがつく場合は、プログラムの共有を行っている。 同様に複数人のお子様がいる場合は、部屋の使い方や活動内容に関して、相談・共有を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		支援終了後に、振り返りの時間を設けている。	より良い療育をご提供できるよう、振り返りや共有を今後も徹底してまいります。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			SOAP方式での記録を毎回の療育後に取っております。	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		定期的に行うことで、お子様の現状に沿った療育を提供できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			児童発達管理責任者が参画しております。必要に応じて、療育担当者にも参画を促します。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	外部研修等を利用して、情報交換を行っている。	お子様によって、必要に応じて療育機関と情報交換等をさせていただきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	5		お子様によって、必要に応じて療育機関と情報交換等をさせていただきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	6		お子様によって、必要に応じて療育機関と情報交換等をさせていただきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	6		今年度の開所の為、来年度以降必要に応じて、情報共有や相互理解を図らせていただきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	5		今年度の開所の為、来年度以降必要に応じて、情報共有や相互理解を図らせていただきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	7		研修に参加する機会があれば、受けるようにしている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3		近所の公園で活動をする際に、交流する機会がございます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	1	主に、管理者が参加している。	機会がございました際には、積極的に参加をさせていただいております。会議の内容に関して、スタッフへ共有し、スキルの向上や知識の獲得に繋げております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		フィードバックの際に、日頃の様子を伺い、相互理解に努めている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7		待合スペースに告知の掲示物を貼り、保護者の方にプログラムの存在をお伝えしている。	事業所内相談支援時に、家族支援を行わせていただいております。全ての利用者様に提供できているわけではないため、今後も積極的にお話をさせていただけたらと思っております。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			ご契約時及び変更・更新があり次第、随時ご説明させていただきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		更新の度に、同意を得るようにしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		フィードバックの際に、話す時間を設けている。	事業所内相談支援という形でご対応させていただいております。今後も、積極的にお話を伺い、ご対応させていただけたらと思っております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7		現在、保護者会等は行っておりません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		スタッフ内で共有し、対策等を話し合い、動くようにしている。	ご質問・ご相談等は是非お気軽にスタッフまでお申し付けください。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		3ヶ月に1度ほどのペースで、会報を発行している。スタジオの様子や、イベントの報告、各種案内を掲載している。	今後も、3ヶ月に1回ほどのペースで、会報を発行させていただきます。また、SNS(インスタグラムやフェイスブック)でも活動状況等を発信させていただいております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		SNSに写真を掲載する場合は、保護者様に同意を得てから掲載している。	重要書類は鍵付き書庫に保管する等注意をしております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		お子様とは療育内で沢山やり取りを行うようにしている。保護者様とは、フィードバック時や来所時に情報の共有を行うようにしている。	

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	開所イベントとして、地域住民の方も交えて活動を行った。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		研修等を行うことで対応している。	保護者様待合スペース、青色ファイル内に冊子としてをご用意させていただいております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		定期的に避難訓練を行っている。	年に2回、お子様にもご協力いただき避難訓練(火災・地震)を実施しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		フェイスシートに記入いただき、スタッフ間で共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		基本的には、食物の提供をしておりません。イベント等で、食物の提供を行う際は、十分に留意致します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		毎月ヒヤリハット事例をまとめ、スタッフ間で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			社内研修はもちろん、必要に応じて療育機関と情報交換等をさせていただきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7			現在、対象となるお子様はいらっしゃいませんが、社内研修を実施し、対応できるようにしております。